## 薩摩狂句鑑賞 170

薩摩狂句暦

三條風雲児著 から

## 名付祝妻も小ちんと床で化粧

のことである。 え」とか「おしっちゃゆえ」とか呼んで いたように思う。これがつまり「名付け祝 誕生後七日目のお祝いを、「かんたてゆ

みだしなみを忘れないところはやはり女 だ起き上がってはならない頃である。し けれども、 とした」と、いうような意味。 かし、客が見えるので、軽くお化粧をして、 「小ちんと」とは「ちょっぴり」とか「ちょっ 親類の人たちを招いてお祝をするのだ 主人の温かい思いやりも感じられる。 お産をしたばかりの母親はま

## 客な奴キープん瓶に線ぬ引っ

を侍らせながら、椀飯振舞いをしたがる 酒を飲むと気が大きくなって、美女たち の中にはいろんな人が居るもので、 日高 山伏

唱)

他人ん心配よか我がん足元

世

良いのかも知れないが、それなら自分の 家で飲めば安上がりなのに、それはいや 馬鹿な散財をするよりも、けちな方が

て帰るしぶちんもいたわけである。

酒瓶に、ごまかされないように印をつけ

人があるかと思えば、キープしている洋

0) 印をつけて、それ以上飲ませてくれない なのだから厄介である。 かも知れない。 家では奥さんが

薩摩郷句誌 渋柿八三四号雑吟から

永井

牛山

諸木 小春

無口者い手口八丁ん嫁が付っ

(唱 嬶天下も楽じゃち亭主

内野 茶柱

## 半額の札でな手が出っ妙な癖

唱) 世帯魂どが反応すったろ

めだか

八十歳婆べ心配事ちゃ無かち百歳の母 何歳ちなってん我が子じゃっでな

(唱)

安楽

気を付けち言ながい我がが転倒けっ

伊地知 孝

処理水ち便所け走った飲兵衛亭主 (唱)汚染水じゃち言わじ良かった

井戸川 鶴

## 老人夫婦大鍋おでんで三日食っ

(唱)そいかあ先も美味か大根

可愛じ声い素通や恥ね募金箱

藤本

鬼瓦

、唱)優し爺様ち園児あ見抜

地知

孝

夫婦喧嘩拝ん娶ろたたけ忘れっ

三ヶ日ちゃ婆も昼かあ盃く握っ

満留

ぐみ

## 郷 句 募 集

◎ 4 号

題吟「花見(はなん)

締切令和6年3月6日(水)

◎5号

題吟「茶(ちゃ)」 締切 令和6年4月5日(金

◇選 者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いて ご応募くだされば選者が適宜漢字をあ ててくださいます。

◇応募先 〒八九二-○八四六 鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係 鹿児島市加治屋町三番一〇号 E-mal:ihou@city.kagoshima.med.or.jp FAX ○九九-二二五-六○九九 T E L 〇九九 - 二二六 - 三七三七



樋口

風 選

## 530

## 天

兼題

化粧」(けしょ)

寝ぼけ顔れ化粧を塗ったやしゃんちなっ 上町支部 吉野なでしこ

眉毛も綺麗れ描っ戦闘準備

りしません。今日は大事な仕事があるの 時計に起こされたので、何となくすっき それでも鏡台に向かって、眉毛を描き (評) 夜遅くまで起きていて、目覚まし しっかりしなければなりません。

らではの句になりました。お化粧は今日 日の活動の戦闘準備かもわかりません。 女性の心理が良く詠み込まれた女性な ます。

口紅を引くと気持ちまでシャキッとなり

「しゃんちなっ」が効きました。

## 地

化粧してん映えあせんどん塗っ出 清滝支部 鮫島爺児医

(唱) 解つおっどん此や身階ん

良く見えるか百も承知です。 もあります。どう化粧したらそれなりに 付き合ってきた自分の顔だから、 長所も知っています。それなりの自負心 (評)モラルハラスメントに聞こえます そうではありません。もう何十年も 欠点も

美しい人なのでしょう。 トでもあります。自分を知っている心の つ必要はないのです。 お化粧は女性としての身嗜みで、 最低限のエチケッ 目立

伊敷支部 谷山五郎猫

# デイ行っち婆は化粧しい念が入っ

という都々逸があります。 ね)つけるみんな貴方(ぬし)への心立て\_ (唱) (評) 「誰に見しょとて紅鉄漿(べにか 何歳ちなってん残けちょっ色気

す。 だから美しく見せたいのは自然のことで 肌の弾力も無くなり、 性も来ることでしょう。 何歳になっても、 デイケアーには、色々な人が来ます。 好意を寄せたくなる男 染みも出てきます、 若い頃と違って

> のでしょう。念も入りましょう。 お年寄りにはそれなりの化粧法もある

化粧ん美人貴女な誰なち二度見しっ 五客一席 紫南支部 二軒茶屋電停

(唱) 解らん筈じゃ凄い厚化粧

相撲取いの化粧まわしが見映えしつ 五客二席 清滝支部 鮫島爺児医

(唱) 良か恰好よか欲しか白星

前足で猫が化粧すっ雨ん朝 伊敷支部 谷山 五郎

五客三席

唱) 隣の三毛となデートも出来じ

誰じゃろか化粧をば落てた娘が挨拶 五客四席 上町支部 吉野なでしこ

唱 見た顔じゃいが聞っ訳いかじ

五客五席 神社参い子供の化粧が晴れをしっ 清滝支部 鮫島爺児医

唱 口紅ぬば引けば可愛か良か娘

## 秀 逸

清滝支部 鮫島爺児医

結婚式な派手な化粧が晴れをしつ 雪化粧桜島いな良う似合っ

積んだ雪き灰で厚化粧ん桜島 伊敷支部 谷山五郎猫